

会 議 録

会 議 名 称	令和6年度 第2回加古川市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和6年9月25日（水）午後7時から午後8時30分まで
開 催 場 所	加古川市役所 新館10階 大会議室
出 席 者	<委員> 森田会長、破魔副会長、小坂委員、伊東委員、千歳委員、中谷委員、本岡委員、三上委員、阿部委員 <市> （市民協働部）松下部長、山野次長 （スポーツ・文化課）小口課長、小山副課長、荻内担当副課長、前田係長、新谷主査、岸本主査 （学校教育課）岡本課長
会 議 次 第	開 会 1 委嘱状交付 2 部長あいさつ 3 委員紹介 4 会長選出 5 会長あいさつ及び副会長指名 6 報告事項 （1）加古川市スポーツ推進審議会の役割・経過について （2）加古川市スポーツ推進計画と現状について （3）部活動の地域移行に向けた市としての取組状況について 7 協議事項 （1）加古川市スポーツ推進計画策定スケジュールについて 8 その他 閉 会

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
開 会	
1 委嘱状 交付	委嘱状の交付
2 部長 あいさつ	部長あいさつ
3 委員紹介	委員紹介

4 会長選出 (委員)	森田委員にお願いしてはどうか。
(事務局)	森田委員にお願いしてはどうかと提案があったが、いかがか。
(委員一同)	(拍手)
5 会長あいさ つ及び副会 長指名 (会長)	会長あいさつ 破魔委員を指名。
6 報告事項 (事務局)	(1) 加古川市スポーツ推進審議会の役割・経過について (2) 加古川市スポーツ推進計画と現状について ＜事務局説明＞ 審議会資料P 7～P16 別添「加古川市スポーツ推進計画中間評価報告書」
(委員)	サッカーの指導を行っているが、市の取組についてはあまり把握できていないと感じた。近年、運動をする子どもが減っていると感じており、スポーツ参画人口の拡大に向けて検討していきたい。
(委員)	高齢者はスポーツに参加することが難しいが、審議会を通じてスポーツに対する理解を深めていきたい。
(会長)	様々な分野の方が本審議会に参画されているため、各分野において情報発信にご協力をよろしくお願いしたい。
(事務局)	(3) 部活動の地域移行に向けた市としての取組状況について ＜事務局説明＞ 別添「兵庫県部活動地域移行推進計画【概要】」 別添「部活動あり方検討委員会～会議資料（一部抜粋）～」
(委員)	資料3ページの黒丸「●」は顧問がいないということか。
(事務局)	顧問はいるが、技術的な指導を外部の指導者が行っているという表記である。

(委員)	柔道部などの試行プランの参加人数等は分かるか。
(事務局)	参加人数については資料を持ち合わせていない。 登録人数については、以下のとおり。 ①吹 奏 楽： 27 人 ②野 球： 188 人 ③水 上： 2 人 ④柔 道： 21 人 ⑤サッカー： 138 人
(委員)	試行プランの多くは、会場が別府中学校となっているがなぜか。 また、試行プランは、今後、他種目へ拡大していくのか。
(事務局)	別府中学校が会場となっている試行プランについては、対象種目の地域指導者が既に別府中学校を利用していることなどが主な理由である。 また、種目の拡大については、今後の検討課題である。
(委員)	水上スポーツクラブの参加人数は何名か。 また、来年度以降の計画は。
(事務局)	参加者は2名。参加者の増加に向けて努めていきたい。 また、来年度以降の取組は、現在検討中である。
(会長)	水上スポーツクラブは、地域資源を活用したプランであり、既存の部活動の枠に捉われないもの。 今の中学生は部活動のシステムの中で動いているため、既に部活動へ入部している生徒の新規参加者は見込めないと考える。今後は、小学生などの参加も含めて検討していくべきだと市に伝えている。市の規模が大きいことや地域性なども考慮すると、試行プランを繰り返すだけでは先に進まない。県のように、市としての方向性やスケジュール感を示していかなければならない。
(委員)	先日、パラスポーツ指導者協議会として漕艇センター前水域でパラカヌー体験会を開催した。広報かこがわ9月号の配布を待たずして定員が埋まるなど、水上スポーツは障がいのある方の関心も非常に高い。 中学生のみに限定するのではなく、枠を広げるなどの検討も進めてもらいたい。 また、障がい者にも目を向けていただきたい。

7 協議事項 (事務局)	(1) 加古川市スポーツ推進計画策定スケジュールについて <事務局説明> 審議会資料P17 別添「第2期 加古川市スポーツ振興基本計画策定スケジュール」 別添「加古川市スポーツ振興に関する市民調査」
(委員)	意見なし
8 その他 (事務局)	令和6年度スケジュールについて <事務局説明> 別添「令和6年度事業計画」
(委員)	第12回加古川スポーツカーニバルと同日に開催するスポーツ能力測定会(市主催事業)は、6種類の運動(ジャンプ・10mスプリント・バットスイング・切り返し走・リカバリーバランス・視覚反応&ステップ)を専用の測定機器で測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどを知ることができるという説明があった。今後、部活動の地域移行が進んでいく中で、子ども達に大きく関係してくることが予想されるため、部活動が地域へ移行された後、どのように進めていくのかが重要である。 また、加古川市は3つのスポーツ関係団体があり、運営母体を担える組織が多いと感じた。
(会長)	地域移行に際しては、受け皿となり得る活動団体が多数必要となる。そういった面で、3つのスポーツ関係団体がある加古川市は様々な種目において活動団体を設置できることが予想される。活動団体を設置するにあたり、生徒や部活動顧問、地域住民の意見やニーズを聴取しつつより良い環境づくりに努めていただきたい。
(事務局)	生徒ニーズを調査しつつ、地域移行をどう進めていくか検討中である。 また、部活動顧問や各校長の意見も聴取しつつ、各スポーツ団体とも調整を行っているところであるため、方向性が決まり次第、市民に対してしっかりと伝えていきたい。
閉 会	